DK-5000 SERIES MANUAL

取扱説明書

DK-5010A

TYPE A

この度は当社の製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
お持ちの製品が本取扱説明書で記載の製品と一致するか製品ラベルにてご確認ください。
この製品を安全に正しくご使用頂くために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しくお使いください。
この説明書は、いつでも使用できるよう大切に保管してください。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合に、取扱者が傷害を負う恐れのある場合や機器を損傷する恐れのある場合の注意事項を記載しています。

●お問い合わせは下記まで

ライン精機株式会社

本　社　〒152-0001 東京都目黒区中央町 2-37-7
TEL：03-3716-5151　FAX：03-3710-4552
E-mail　webtrade@line.co.jp
URL　http://www.line.co.jp

■はじめに

DK-5010Aは、10個のカウンタを内蔵し、それぞれのカウント値とそれらの合計値を1組として、日時と共に記憶するタイムスタンプ付10連式カウンタです。日時と共に記憶された1組のカウント値をレコードと呼びます。最大250組のレコードを記憶できます。

本器には専用ソフトウェアが用意されています。本ソフトウェアをお使いになると、レコードをPCに取り込んだり、PCからレコードを削除できます。また計数中のカウント値をPCに表示できます。
ソフトウェアは、弊社ホームページから無償でダウンロードできます。
本ソフトウェアは、Windows 7/8/8.1上で動作します。

※ ご注意ください
DK-5010AとPCとの接続には、マイクロUSBケーブル（Bタイプ）をご使用ください。

■電源

次の3つの方法で電源を供給できます。

- ▶ AC/DCアダプタ（別売）※
- ▶ USB電源（5V,100mA）
- ▶ 単4乾電池×4本

※AC/DCアダプタは、別売のDK-5000専用アダプタをご使用ください。

初めてお使いの際、および全ての電源が断たれ再度電源が供給された際には、表示部のLCDセグメントが2~7秒間点滅した後、日時の設定モードになります。日付と時刻を設定してお使いください。（詳細は、「キー操作」をご参照ください。）

※ ご注意ください
電源の供給が断たれると内蔵されている時計が停止します。AC/DCアダプタやUSB電源でご使用される際にも、時計の停止を防ぐために、併せて電池のご使用をおすすめします。
AC/DCアダプタやUSB電源が接続されている場合、電力は電池から供給されず、電池は消耗しません。

新品のアルカリ電池で、通常のご使用環境において200時間動作します。

電池が消耗すると表示部の右上に ▭ が表示されます。
▭ は、次の場合に点滅表示します。

- ▶ 電池の残量が少ない時
- ▶ 電池をご使用されていない時

内部の時計が停止した場合、再度のご使用の際には、自動的に日時の設定モードとなります。
日付と時刻を再度設定してください。時計が停止しても、カウント値とレコードは保持されています。
（詳細は、「キー操作」をご参照ください。）

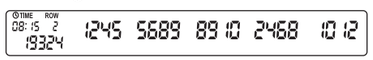
■操作モード

次の3つの操作モードがあります。

①カウントモード　②設定モード　③メモリー呼び出しモード

●カウントモード

カウントモードは、基本の操作モードです。個々のカウント値とその合計値が表示されます。
表示部の左上に TIME と時刻、ROWと表示列番号が表示されます。



カウントモードにおいて各々のカウンタが機能します。
個々のカウント値とその合計値は、対応するカウントキーが押される度に計数されます。
[F]と[1]、[2]または[3]のキーが同時に押されると、操作モードはカウントモードから他のモードへ切り替わります。
（詳細は、「キー操作」をご参照ください。）

●設定モード

設定モードには、次の2つがあります。

a.）日時の設定モード
b.）本体IDの設定モード

これらの設定モードで、日付と時刻の設定または本体IDの設定や確認ができます。
（詳細は、「キー操作」をご参照ください。）

●メモリー呼び出しモード

本器に記憶されているレコードを表示するモードです。表示部の左上にMEMと4桁のメモリー番号が表示されます。このメモリー番号は各々のレコードの記憶場所を表します。
レコードが削除されると、各々のレコードの記憶場所は移動し、メモリー番号は付け変わります。
次の2つの表示モードがあります。

a.）タイムスタンプの表示モード
b.）カウント値の表示モード

タイムスタンプの表示モードは、そのレコードが記憶された時の日時を表示します。
カウント値の表示モードは、カウント値とその合計値を表示します。

記憶されている全レコードの消去もこのモードからできます。
（詳細は、「キー操作」をご参照ください。）

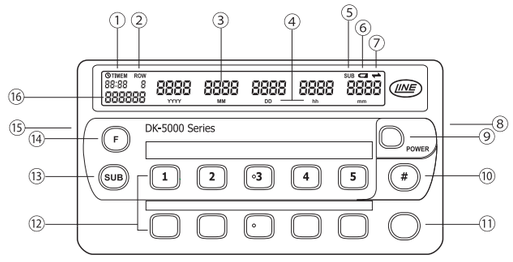
■ソフトウェア

DK-5000専用ソフトウェアを用意しています。ソフトウェアは、弊社ホームページから無償でダウンロードができます。
DK-5000専用ソフトウェアでは以下のことができます。

- ・本器からのデータの取り込み
- ・取り込んだデータを「.xls」または「.csv」ファイルで出力
- ・本器に記憶されているレコードの削除
- ・日時の同期
- ・本体IDの変更

また、計数中のカウント値をPCの画面にリアルタイムに表示できます。表示は1秒ごとに更新します。
詳細については、DK-5000 Mieruzzo ソフトウェアユーザーズマニュアルをご参照ください。
本器とソフトウェアが接続されている時は、表示部の右上に ⇄ が表示されます。

■各部名称



① 時計/メモリー番号
② 表示列番号
③ カウント表示
④ 日時アイコン
⑤ 減算表示
⑥ 電池警告表示
⑦ ソフトウェア通信中
⑧ DCジャック(5.5mm)
⑨ 電源キー
⑩ ＃キー
⑪ 表示列変更キー
⑫ カウントキー
⑬ 減算キー
⑭ ファンクションキー
⑮ USB2.0ポート
⑯ 合計値表示

■キー操作

●電源キー

電源（On/Off）

◆電源キーを1秒間押すと電源が入ります。

◆電源キーを3秒間押すと電源が切れます。

電源が切られた際、計数中のカウント値は保持され、
再度電源が投入された時に、その値が表示され計数が継続されます。

●「F」キー（ファンクションキー）

日時の設定

◆[F]キーを押しながら[1]を押すと、日時の設定モードになります。
「年年年年-月月-日日-時時-分分」の形式で日時が表示されます。

◆[1],[2],[3],[4],[5]の キーを押すと、日時の値が増数します。
【[1]:年　[2]:月　[3]:日　[4]:時　[5]:分】
[1],[2],[3],[4],[5] のキーを長押しすると、各キーの値が連続して増数します。

◆[SUB]キーを押しながら、[1],[2],[3],[4],[5] のキーを押すと、各値が減数します。
（「SUB」キーを参照してください。）

◆[F]キーを押すと日時の設定モードが終了し、カウントモードに戻ります。

●「F」キー（ファンクションキー）

本体ＩＤの設定

◆[F]キーを押しながら[2]を押すと、本体IDの設定モードになります。
3桁の本体IDが表示されます。
本体IDは、ソフトウェアが、個々のDK-5000を識別するために使用されます。

[3],[4],[5]のキーを押すことで、本体IDの各桁が増数します。
[3],[4],[5]のキーを押し続けると、各桁が連続して増数します。

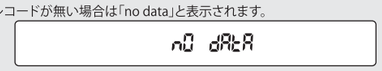
◆[F]キーを押すと本体IDの設定モードが終了し、カウントモードに戻ります。

注）
※本器とソフトウェアが接続している時は、本体IDは変更できません。

メモリー呼び出し

◆[F]キーを押しながら[3]を押すと、メモリー呼び出しモードになります。
最新に記憶されたレコードが表示されます。

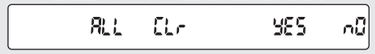
レコードが無い場合は「no data」と表示されます。



◆[1]キーを押すと次のレコードが表示されます。
◆[2]キーを押すと前のレコードが表示されます。
◆[3]キーを押すとレコードのタイムスタンプの表示モードになります。
◆[4]キーを押すとレコードのカウント値の表示モードになります。
◆[5]キーを押すと下記の「メモリー全消去」モードになります。
◆[F]キーを押すとメモリー呼び出しモードが終了し、カウントモードに戻ります。

メモリー全消去

◆「メモリー全消去」モードにおいて全消去確認画面が表示されます。



◆[4]キーを1秒押すと、「Yes」が選択されます。全レコードが消去された後、「メモリー呼び出し」モードに戻り、「no data」と表示されます。
メモリー消去中は「All data ‒‒ ‒‒ Clear」と表示されます。

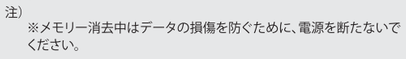
◆[5]キーを押すと、「No」が選択されます。
レコードは消去されず、「メモリー呼び出し」モードに戻ります。
◆[F]キーを押すとメモリー全消去モードが終了し、カウントモードに戻ります。

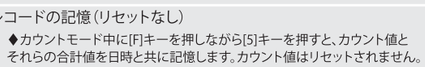
注）
※メモリー消去中はデータの損傷を防ぐために、電源を断たないでください。

レコードの記憶（リセットなし）

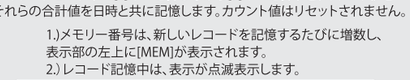
◆カウントモード中に[F]キーを押しながら[5]キーを押すと、カウント値とそれらの合計値を日時と共に記憶します。カウント値はリセットされません。

1.)メモリー番号は、新しいレコードを記憶するたびに増数し、
表示部の左上に[MEM]が表示されます。
2.）レコード記憶中は、表示が点滅表示します。





3.）記憶後、カウント値はリセットされず、計数を継続します。

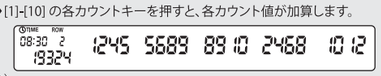


注）
※レコードのタイムスタンプは、メモリー呼び出しモードやソフトウェアにおいてレコードの識別に使用されます。

●カウントキー

カウントモード

◆[1]-[10] の各カウントキーを押すと、各カウント値が加算します。



注）
※ミスカウントを防ぐために、しっかりとカウントキーを押してください。

●「SUB」キー（減算キー）

カウントモード

◆[SUB]キーを押しながら、各カウントキーを押すと、押されたキーに対応するカウント値が減算します。

設定モード

◆設定モード中に、[SUB]キーを押しながら、[1],[2],[3],[4],[5] のキーを押すと、「年」「月」「日」「時」「分」または「本体ID」の値が減数します。
◆[SUB]キーを押しながら、各キーを押し続けると、連続して減数します。

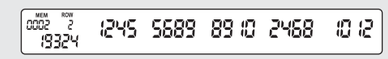
注）
※[SUB] キーを押している間、画面右上にSUBと表示されます。

●「＃」キー

レコードの記録

◆カウントモード中に[＃]キーを1秒押すと、カウント値とそれらの合計値を日時と共に記憶します。

1.)メモリー番号は、新しいレコードを記憶するたびに増数し、
表示部の左上に[MEM]が表示されます。
2.）レコード記憶中は、表示が点滅表示します。



3.）記憶後、カウント値は「0」にリセットされ、計数を開始します。

注）
※レコードのタイムスタンプは、メモリー呼び出しモードやソフトウェアにおいてレコードの識別に使用されます。

●表示列変更キー

カウントモード

◆カウントモード中に［表示列変更キー］を押すと、
画面に表示される列が変更されます。
ROW1は、カウント1~5を示します。ROW2は、カウント6~10を示します。

メモリー呼び出しモード

◆メモリー呼び出しモード内のカウント値の表示モード中に、
［表示列変更キー］を押すと、画面に表示される列が変更されます。
ROW1は、カウント1~5を示します。ROW2は、カウント6~10を示します。

■メモリー容量について

本器は250レコードまで記憶できます。

メモリー使用容量が80%以上の時、メモリー容量低下インジケータ MEM LO 表示が5秒毎に2回点滅します。

メモリー使用容量が100%の時、メモリーフルインジケータ MEM FULL 表示が点滅します。

※ ご注意ください
メモリーが250レコードを超える場合は、最も古いレコードを削除して新しいレコードを記憶します。メモリー番号はレコードの削除にともない、変化します。

■仕様

計数範囲	カウンタ：表示４桁　0～9999、　内部５桁　0～99999 トータルカウンタ：６桁　0～999999
使用温湿度範囲	0℃～50℃ (但し、氷結しないこと) 35~85% RH (但し、結露しないこと)
保存温度範囲	-10℃～60℃ (但し、氷結しないこと)
寸法	96 (H) x 170 (W) x 25 (D) mm
質量	約 185g (電池含まず)
適合規格	CE、RoHS

詳細につきましては、弊社ホームページをご確認ください。**http://www.line.co.jp**

⚠ ご使用上の注意

- ・本器を強い電磁波を出す機器の近くや静電気のたまっている物体の近くで使用しないでください。
- ・本器を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- ・本器は防水形ではありませんので、水中や水のかかる場所での使用は避けてください。
- ・本器を直射日光、ほこり、高温多湿での使用、保管をしないでください。
- ・電池を適切に入れるため、電池ケースの表示を確認してください。
- ・本器の分解、改造等を絶対に行わないでください。
- ・USB電源をご使用になる際は、USBケーブルが外れないように本器をしっかりと固定してください。
- ・本器の表示部には保護シールが出荷状態では貼付してあります。

本紙は2015年6月1日現在のものです。4DK5004A
記載内容は、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。

All Rights Reserved,Copyright©2015,LINE SEIKI CO.,LTD.